

この時期に発生したプレジャーボート海難を見ると、最も多いのは
運航不能(機関故障、燃料切れ等)となっています。

出港の前には、しっかりと点検・整備を行いましょ！

マリンレジャーを楽しむために

「発航前点検」

の実施を！！

《事故事例》平成30年6月上旬 青森県にて、船長は魚釣りを目的に、プレジャーボートで出港。釣りのポイントを探しつつ、船外機を起動させたままの状態
で、釣りをしていたところ、突然エンジンが停止した。再起動を何度か試みる
も起動せず、航行不能となり救助要請したものです。

原因は、**長年使用したバッテリーの劣化**により充電が出来ない状態となってい
ました。



巡視艇に救助される機関故障船

◎バッテリーのチェックポイント！

- 電解液の量 * 液量は規定量を維持していますか？
- 電解液の比重 * 2～3か月に一度は、比重値を確認！
- 緩み・汚れ・錆の点検 * ターミナル・接続端子のゆるみがあれば増締めを行ってください！



第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1
(代表) 022-363-0111
(直通) 022-365-9609

🔍 マリレよろず 検索

“霧中”の事故多発

令和元年5月26日、千葉県犬吠埼沖で貨物船同士が衝突し、**3名が“死亡”**、**1名が“行方不明”**という悲惨な事故が発生しました。

東北地方で**“今年3件”**発生しています。

霧海難防止のための注意事項

- 気象情報の入手と早めの帰港
- 霧発生時の出港自粛

出航中、万が一、霧が発生してしまったら・・・

- 見張り強化と安全速力
- 無理に動かず、危険を感じたら118番通報を!

熱中症にご注意を!

これからのシーズン、日中の気温が30℃を超える日数が多くなり、**熱中症**のリスクが高くなります。また、**高温・多湿・日差しを直接受ける・無風(または熱風)**といった環境下では、汗が蒸発しにくく、体温調節には無効な発汗が増え、**脱水症状**に陥りやすくなります。

熱中症・脱水症状にならないよう、**服装や作業時間**に気をつけ、こまめな**水分・塩分の補給**、**休憩**を心がけましょう。

水分補給 休憩はこまめにしよう!



再確認! 救命胴衣着用時の注意点!

救命胴衣は適切に着用することで、はじめて機能を発揮します。

詳細についてはこちらから→



マリレ情報よろず屋
～バックナンバーはこちら～

海の安全情報スマホ版サイト
(沿岸域情報提供システム)

